

村上特別支援学校 職業教育シラバス

1 目 標

- ・進路希望に応じたコースでの学習活動を通して、将来の職業自立のために必要な知識や技能、マナーなどのスキルを身に付けることができる。
- ・課題解決に向けて、自分で考え、行動しようとする意欲や態度を高める。
- ・職場体験や実習などを通して、職業に対する興味・関心や適性を理解し、自分の進路を自己決定・自己選択することができる。

2 各指導の形態の概要

ワークタイム（学部縦割りコース）	
○ねらい ・学習内容	○様々な職種の体験的な作業活動を通して、安定した職業生活を送るうえで、基本的な知識・技能を身に付け、働く喜びや充実感を味わう。 ・清掃、介護、接客、事務・製造、農耕 など
ライフタイム（学部縦割りコース）	
○ねらい ・学習内容	○衣食住、余暇、地域資源の活用に関わる学習活動を通して、卒業後豊かな社会生活、家庭生活を送る力を高める。 ・調理活動、身だしなみ講座、洗濯、ゴミ分別 など
職場実習（学部縦割りコース）	
○ねらい ・学習内容	○社会で働く人との交流や現場での勤労体験を通して、勤労観、職業観を確かにしていく。 ○就労意欲をもち、希望する進路を明確にし、その現実に向けて行動することができる。 ・年2回（春季・秋季）の職場実習（1～3週間）、高3での個別職場実習

3 ワークタイムの内容

（1）班編成の考え方

- ・卒業後の進路希望を基に、地域性や付けたい作業能力等を考慮して4つの作業班を編成する。

①一般就労希望者	ジョブトレ班
②就労継続支援 B 型希望者	陶芸班 or 縫製班
③生活介護希望者	リサイクル班

（2）単元の設定（ジョブトレ班の例）

単元名	主な学習内容	■育てたい力 ◇職種の特徴
清掃	床清掃（ダスタークロス掛け）	■手順を守り、正しく用具を扱う力、必要な速度で仕事をする力 ◇多くの職場にある仕事、用具の扱いを適切に行うべき仕事
農耕	校畑での野菜栽培、収穫、販売	■屋外での肉体労働に従事できる力、仲間と協力して仕事を行う力 ◇ダイナミックな動きを求められる仕事
介護	ベットメイキング	■マニュアルに沿って業務を確実に手早く遂行する力 ◇より迅速性、正確性を求められる仕事
喫茶	校内、校外カフェでの接客	■身だしなみ、笑顔、言葉遣いなどの接客の基礎的な力、清潔で衛生的に仕事をする力 ◇学校行事（かがやき祭）での喫茶運営に向けた取り組み
事務 製造	各事業所からの委託業務	■安全に道具を操作する力、見た目を意識して仕上げる力 ◇再生封筒作り など

(3) 単元の配列 (ジョブトレ班の例)

班を2グループに分け、「清掃」は11回、「介護」は11回、「農耕」は24回、「喫茶」は14回、「事務製造」は32回程度(2~4限で1回とカウント)で計画する。その他に技能検定、即売会など、班の特性に応じた学習を5回程度設ける。

大まかな単元年間配列表は以下の通りである。

班	前期 (4~9月)								後期 (10月~3月)										
ジョブトレ	清掃 農耕 介護	実習 事前 学習	春の 職場 実習	実習 事後 学習	清掃 農耕	即売会	清掃 技能 検定	喫茶 製造 農耕	かが 即 や 売 会 祭	実習 事前 学習	秋の 職場 実習	実習 事後 学習	介護	事務 製造 介護	介護 技能 検定	事務 製造	即売会	介護	事務 製造

※1 作業班編成は、卒業後の進路希望を基に、他の要素も含めて、学校主導で編成する。

※2 技能検定の学習を前単元の評価の学習として実施する。前半はオリテ、後半は練習期間。原則として、技能検定はジョブトレ班全員出場とする。

(4) 単元の展開の留意点

- ・原則として全学年をコース分けした班ごとに学習する。
- ・どの単元も技能検定や即売会等を中心に据える。

(5) その他

「事務・製造」の内容は組み込まれた単元だけでなく、適宜授業に盛り込む。各担当者が下記の例を参考に、生徒の実態に合わせて指導内容を選定し、学習活動を構成する。

- 印刷する (印刷機、コピー機) ○切る (はさみ、カッター、のこぎり、ニッパー、ペンチ)
- 穴を開ける (パンチ、きり) ○描く、塗る (直線、曲線、定規、筆)
- 縛る、束ねる、綴じる (ひも、ゴム、ホチキス) ○折る (折り紙)
- 貼る (のり、ボンド、ガムテープ、セロハンテープ、両面テープ)
- 計る、測る、量る (定規、分度器、タイマー、はかり)
- パソコン (校内表示作成、データ入力、名刺作成)